

# カーボンレポート

## 東京都低炭素ビル実績表示

この書面は、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく「地球温暖化対策報告書」(都内の中小規模事業所を対象)により東京都に報告したCO<sub>2</sub>排出量の実績等を、地球温暖化対策指針に基づいて表示するものです。

No.A1077-1014

報告書提出  
事業者名

三井住友信託銀行株式会社

事業所名

アーバンネット五反田NNビル

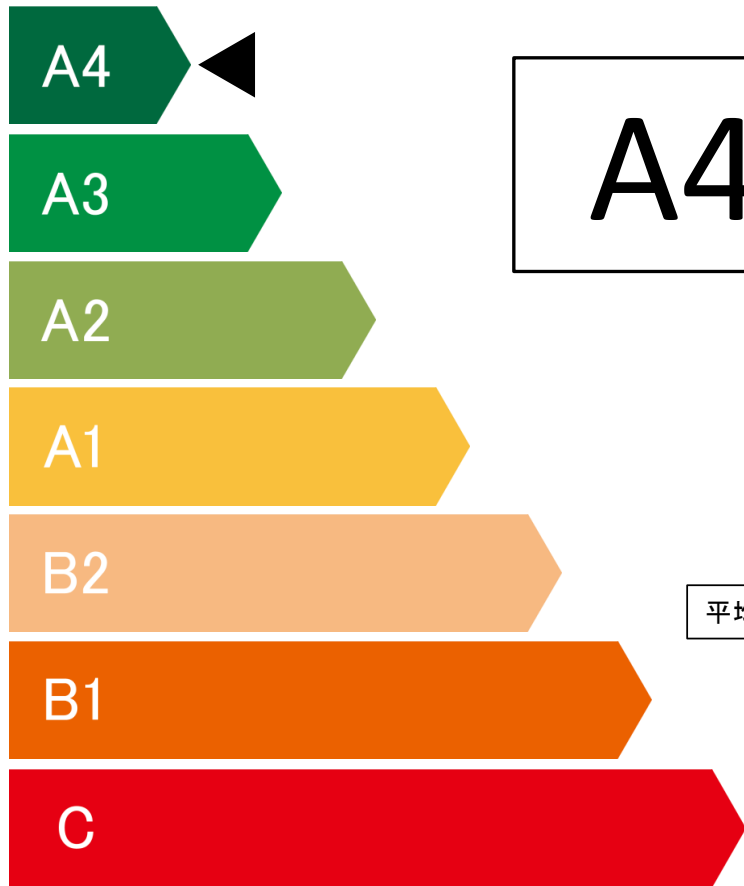
住所

東京都品川区西五反田三丁目7番10号



| 実績年度   | 年間CO <sub>2</sub> 排出量 | 延床面積                   | CO <sub>2</sub> 排出原単位<br>(延床面積当たりの年間CO <sub>2</sub> 排出量) | 主たる用途 |
|--------|-----------------------|------------------------|----------------------------------------------------------|-------|
| 2021 年 | 301 t                 | 9445.54 m <sup>2</sup> | 31.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>                  | 事務所   |

### ベンチマーク区分:テナントビル(オフィス系、中規模)



| ベンチマーク<br>レンジ | CO <sub>2</sub> 排出原単位<br>(kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> )の範囲 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------|
| A4            | ～ 41.6                                                            |
| A3+           | 41.6 ～ 45.3                                                       |
| A3            | 45.3 ～ 49.1                                                       |
| A3-           | 49.1 ～ 52.9                                                       |
| A2+           | 52.9 ～ 56.7                                                       |
| A2            | 56.7 ～ 60.4                                                       |
| A2-           | 60.4 ～ 64.2                                                       |
| A1+           | 64.2 ～ 68.0                                                       |
| A1            | 68.0 ～ 71.8                                                       |
| A1-           | 71.8 ～ 75.5                                                       |
| B2+           | 75.5 ～ 79.3                                                       |
| B2            | 79.3 ～ 83.1                                                       |
| B2-           | 83.1 ～ 86.9                                                       |
| B1            | 86.9 ～ 113.3                                                      |
| C             | 113.3 ～                                                           |

※ベンチマークは、都内の中小規模事業所のCO<sub>2</sub>排出水準(CO<sub>2</sub>排出原単位の水準)を15段階で示す指標です。(詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)を参照)

※CO<sub>2</sub>排出水準は、ビル側の地球温暖化の対策の推進状況だけでなく、ビルの稼働状況や入居者の取組等の影響を含むものです。

※本書面の記載内容は、第三者の検証を受けたものとは限りません。また、報告書提出事業者の事業所範囲についての内容であるため、区分所有等の場合、基本的にビル全体の内容と一致しません。共有の場合は、持分割合に応じたものとなっています。

◆ 地球温暖化対策の実施状況

|                    | 重点対策            | その他対策           |
|--------------------|-----------------|-----------------|
|                    | 対策名             | 対策名             |
| 組織体制の整備            | テナントにエネルギー使用量提供 | 使用量の推計に必要な情報の提供 |
|                    |                 | テナントへの温暖化対策協力依頼 |
|                    |                 |                 |
| エネルギー等の<br>使用状況の把握 | 自ら入手可能な情報に基づく把握 | 時間的に詳細に把握       |
|                    | 関連他者からの情報を加えて把握 | 過去のデータによる傾向の把握  |
|                    | エネルギー使用量の前年度比較  | 主要設備の使用状況の把握    |
| 運用対策               | 冷暖房温度を都の推奨値へ変更  | 空調機スイッチに空調範囲を表示 |
|                    |                 | 温度計等による室温の把握と調整 |
|                    |                 | 便座ヒーター等温度の季節別設定 |
|                    |                 | 外灯等の点灯時間の季節別管理  |
|                    |                 | 外灯等の点灯時間の季節別管理  |
|                    |                 |                 |
|                    |                 |                 |
|                    |                 |                 |
| 設備保守対策             | 中央熱源機器等の定期点検の実施 | 換気フィルターの清掃・点検   |
|                    | 空調フィルターの清掃・点検   | その他設備の定期的な保守・点検 |
|                    |                 |                 |
| 設備導入対策             | 高効率照明器具の採用(屋内)  | 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) |
|                    | 高効率パッケージの採用     | 高輝度誘導灯の導入       |
|                    |                 | 全熱交換器の導入        |
|                    |                 | 進相コンデンサ等による力率改善 |

上記は、本事業所が実績年度に実施した対策です。

◆ 補足説明(自由記入)

◆ 注記

ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位(延床面積当りの年間CO<sub>2</sub>排出量)は、ビルの断熱性能、設備・機器のエネルギー効率及び運用・保守管理状況を、総合的に示すビルの省エネルギー指標です。東京都が提供するベンチマークは、中小ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位の平均値を用途別・規模別に示しており、その平均値から個々のビルのCO<sub>2</sub>排出原単位がどの程度離れているかをみることで、当該ビルの低炭素レベル(省エネ性能)を評価することができます。

なお、ビルのCO<sub>2</sub>排出原単位は、空室率、駐車場や電算室の有無、稼働時間、入居テナントの種類や入居テナントのエネルギーの使い方等によっても影響を受けます。ベンチマークは、こうした様々な要因も包含した平均値を示していますが、省エネの取組以外の要因が著しく大きい等の場合、評価者は、これらの要因がどの程度、CO<sub>2</sub>排出原単位に影響を与えているかを考慮する必要があります。詳細は、『自己評価指標(ベンチマーク)解説書』(東京都環境局発行)をご参照ください。